

# 平成 27 年度

## 学校法人ゴスペル学園ゴスペル幼稚園 学校評価

〒901-0361 沖縄県糸満市糸満 1693-2

TEL 098-994-2145 FAX 098-994-2566

理事長 山内友子

2013年3月に宗教法人から学校法人に移行して約3年。この度、学校法人に移行してからの振り返りとこれからの当幼稚園の発展の為、教職員による自己評価を実施するに至りました。この学校評価を踏まえつつ、更なるゴスペル幼稚園の教育活動、教育環境そして教職員の資質向上に努めてまいります。

### 《 教育目標 》

『子どもたちひとりひとりが幼児期を精一杯生きることが出来る環境を』  
「聞くこと」・「考えること」・「伝えること」が幼児教育の中で特に大切な事であると捉え、以下の保育方針をもって保育に携わっていきたいと考えています。

### 《 保育方針 》

『良心を持って判断し、豊かな感受性を備える』

園児たちが体験を通して知識と教養を高め、豊かな心を培い健やかに自律の精神を養い、それぞれの個性を大切に捉える教育をします。

#### ① キリスト教保育

神の愛を感じ、人を愛することを目標とした保育

キリスト教保育とは、神の前での良心教育をその生命線としており、このことを踏まえて「本当に大切なことは何か」を園児と共に考えていきます。園児一人ひとりに寄り添い、園児一人ひとりが神と人ともに愛されている存在であることを実感することが出来る幼稚園を目指します。

#### ② 自由保育

自由で温かい家庭的な環境での保育

それぞれの個性を尊重し、伸び伸びと自己表現が出来るよう、日々の様々な活動を通して園児達の発達を支えます。集団生活の中でのルールを守り学びながら、大切な幼児期に大好きなお友達や先生達と沢山遊び込んでいきます。

### ③ 知識を経験として学ぶ保育

伝えること・考えること・善し悪しの判断が出来る

他者と関わることにより、他者を理解し、つながりを大切にする。自然に触れ、知る  
ことによって創造力と感受性を育てる。

## 1. 平成 27 年度主要目標

- ① 全職員、本園の教育目標・保育方針の理解、実践、その目標の達成に努める。
- ② 教職員の質の向上を目指し、県内外の研修等に積極的に参加し、日々の幼児教育に反映させる。
- ③ 学校評価項目を精選し、保護者対象のアンケートを行い、今後の学校運営に反映させる。
- ④ 食育の一環として、園庭や屋上で野菜や果物の栽培を行う。自身で育てた野菜や果物をみんなで調理、また食する喜びを感じ取る。
- ⑤ 安全対策として原則毎月 1 回、防犯・火災・地震等の訓練を実施する。

## 2. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目Ⅰ 保育の計画性

(達成) ゴスペル幼稚園全教職員が園の方針・各クラスやグループの保育内容を把握できている。

(取組状況) 毎週 2 回以上行っている教諭間での各クラスの保育内容等の発表・確認、そして意見交換を通し、毎日のクラス運営に役立てている。

評価項目Ⅱ 保育の在り方、幼児への対応

(達成) 全園児の登園から降園までの様子を観察し、園児一人一人に合った声掛けやアプローチを心掛けている。

(取組状況) 他の園児の発達や成長を比べるのではなく、日々の日常生活の中で園児一人一人の発達や成長を把握し、全教諭でその段階を共有している。

評価項目Ⅲ 教師としての資質や能力・良識・適性

(達成) 全教諭が沖縄県私立幼稚園連合会、キリスト教保育連盟、全国教会幼稚園等主催の研修に積極的に参加した。

(取組状況) 研修の周知が届くと、すぐに全教諭に伝え、できる限り参加してもらい、後日、研修報告を提出させている。研修内容の報告を通して、参加出来なかった教諭にもその研修内容を確認させ、教諭としての資質向上の意識を高めている。

評価項目Ⅳ 保護者への対応

(達成) 毎月のお知らせ等で園生活に必要な事柄を事前にお知らせし、行事を円滑に進めることができた。

(取組状況) 行事毎にアンケートを実施し、保護者からの意見を受け止め、吟味しする。教師間ミーティングなどで、各行事の課題・修正点を話せる時間を設けている。

評価項目Ⅴ 地域の自然や社会とのかかわり

(達成) 近くにある老人ホームや高等学校などとの交流を、積極的に行っている。

(取組状況) 沖縄の伝統文化に関する行事は老人ホームの方々と交流をし、ハロウィン等の外国の行事はALTのいる近くの県立高校へ行き、ALTの方が担当しているクラスに参加した。